

The logo for RISC-V Days Tokyo 2022 Autumn features a stylized 'R' icon on the left, composed of blue and yellow geometric shapes. To its right, the text 'RISC-V Days' is written in a blue, sans-serif font, with 'RISC-V' in blue and 'Days' in yellow. Below this, 'Tokyo 2022 Autumn' is written in a large, bold, orange font with a subtle flame or fire texture.

RISC-V Days Tokyo 2022 Autumn

スポンサー企業 募集要項

RISC-V 協会

開催概要

名称 **RISC-V Days Tokyo 2022 Autumn** カンファレンス、RISC-Vパビリオン
会期 **2022年11月16日(水)– 18日(金)JST (UTC+9)**
会場 **EdgeTech+ 2022** 総合展内 パシフィコ横浜 展示ホール(1F、2F会議室)
主催 **RISC-V協会**
企画推進 **SHコンサルティング株式会社**
後援 一般社団法人 組込みシステム技術協会
EdgeTech+ 2022 同時開催

1. RISC-V Days Tokyo の特徴

RISC-V Days Tokyoは、日本最大のRISC-Vのイベントです。実会場およびオンラインでのプレゼンテーション、実会場での展示ブース、およびプレスカンファレンスを実施いたします。RISC-V Days Tokyo では、RISC-V 関連の優れた技術や製品、そしてキーパーソンや技術者を一堂に集め、製品認知度の向上、企業間連携の実現、技術交流、情報収集などのビジネスチャンスを提供することを目的としています。Day Tokyo 2020 はオンラインで開催し、11カ国(日本、スウェーデン、米国、台湾、仏、中国、露、英国、スイス、ベトナム、デンマーク)から、延べ 1,053名の参加がありました。昨年の RISC-V Days Tokyo 2021 Autumnは1日目をET & IoT展内の会場で開催し、オンライン放映もしました。2日目と3日目をオンライン放映で開催しました。2022年は、EdgeTech+ 2022 1日目と2日目を横浜パシフィコの物理会場講演とオンライン放映で開催し、3日目をオンライン開催とするハイブリッド開催を予定しています(物理会場開催は、新型コロナの社会状況により影響を受けることがあります)。

2. 開催日

2022年 11月16日 (水) 10:30 ~ 17:00 JST(日本標準時間・UTC+9)

パシフィコ横浜 / EdgeTech+ 2022 展示ホール2F会議室 にて開催+オンライン放映

2022年 11月17日 (木) 10:30 ~ 17:00 JST(日本標準時間・UTC+9)

パシフィコ横浜 / EdgeTech+ 2022 展示ホール2F会議室 にて開催+オンライン放映

2022年 11月18日 (金) 10:30 ~ 17:00 JST(日本標準時間・UTC+9)オンライン開催

関連リンク

参加登録: (peatix.com) <https://peatix.com/event/3282226/view>

プログラム情報: (riscv.or.jp)

暫定プログラム

English: <http://riscv.or.jp/en/risc-v-days-tokyo-2022-autumn-en/>

Japanese: <http://riscv.or.jp/risc-v-days-tokyo-2022-autumn/>

Facebook: <https://www.facebook.com/riscv.a/>

Twitter: https://twitter.com/riscv_a

Meetup: TBD (<https://www.meetup.com/ja-JP/RISC-V-Group-Tokyo/>)

3. RISC-V Days Tokyo 2022 Autumn イベントの内容

RISC-V Days Tokyo 2022 Autumnイベントは3日間にわたって開催され、1日目と2日目に、EdgeTech+ 2022 の物理会場からプレゼンテーションを行い、併せてオンライン放映します。3日目はオンライン・プレゼンテーションを放映します。また、EdgeTech+ 2022 展示ホールで3日間のスポンサー各社によるデモブースを企画しています。

スポンサー企業様には、以下のエキスポージャ機会をご提供いたします。

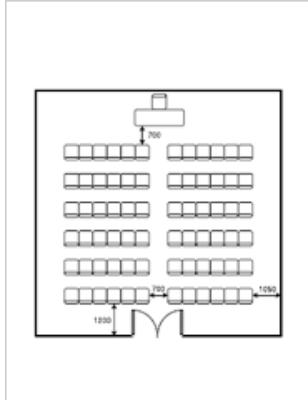
- 会場プレゼンテーション・トークスロット(企業講演: 1日目、2日目 , **EdgeTech+ 2022/** パシフィコ横浜/内 展示ホール **2F** 会議室)
- パシフィコ横浜での1日目と2日目の無償顧客チケット
- オンライン・プレゼンテーション・トークスロット(企業講演: 3日目)
- **RISC-V**/パビリオン(会場:**EdgeTech+ 2022 /** パシフィコ横浜 展示ホール **1F**)
- オンライン**RISC-V**/パビリオン(**Online RISC-V Pavilion: Web**コンテンツ)
- 開示を許諾した参加者リストをスポンサーに開示。

3.1 会場プレゼンテーション・トークスロット

日時: 2022年 11月16日 (水) 10:30 ~ 17:00 JST、2022年 11月17日 (木) 10:30 ~ 17:00 JST

場所: EdgeTech+ 2022 : パシフィコ横浜 展示ホール 2F 会議室(E25)

EdgeTech+ 2022での発表者、参加登録者、スタッフには、COVID-19 ワクチン接種証明書の提示が必要となる



可能性があります。止むを得ぬ事情により会場開催ができない場合は、リモートプレゼンテーションに切り替えます。

スポンサーシップの種類に応じたトークスロットをご提供いたします。講演者、プレゼンテーションのタイトル、および講演内容について、司会によって紹介されます。標準のブラウザを介してスピーカーを放映システムに接続し、画像と音声を送信します。オンライン放映は、高品質な配信で知られるVimeoのライブストリーミングサービスを使用します。

参考: 展示ホール2F会議室 E25会議室, 最大72人(シアター形式)

3.2 オンライン・プレゼンテーション・トークスロット

日時: 2022年 11月18日 (金) 10:30 ~ 17:00 JST(日本標準時間・UTC+9)

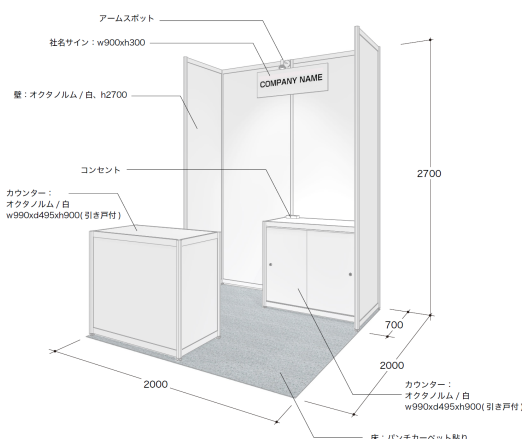
スポンサーシップの種類に応じたオンライン・トークスロットをご提供いたします。ご講演はリモートで行います。ご講演者は通常のブラウザから配信システムに接続し画像と音声を送信いただきます。配信にはプロフェッショナル・グレードの配信スタジオ・ソフトと高品質な配信で定評のあるVimeoのライブ配信サービスを利用します。

3.3 会場ブース

3.3.1 RISC-Vパビリオン

日時:2022年 11月16日 (水)~18日 (金) 10:00 ~ 17:00 JST(日本標準時間・UTC+9)

場所: EdgeTech+ 2022 : パシフィコ横浜 展示ホール



- ・オープンスペース付小間出展
- ・出展スペース1小間 (2m x 2m = 約4m²)
- ・サイドパネル
- ・バックパネル
- ・社名サイン (黒文字、角ゴシック体)
- ・展示台 W: 990mm x D: 495mm x H: 900mm x 2
電源工事 2口コンセント (100V / 500W) x 1か所
* 電気使用量含む
- ・アーム付スポットライト 1灯
- ・パンチカーペット

* 出展料には統一されたデザインのパッケージブースの料金が含まれています。別途特別装飾を行うことは出来ません。

・パシフィコ横浜での1日目と2日目の割引顧客チケット:各日、6人分

3.3.2 オンラインRISC-Vパビリオン(Online RISC-V Pavilion):有償オプション

2021年4月のRISC-V Days 2021 Tokyo Spring で掲載したオンラインRISC-Vパビリオン(バーチャル・ブース: Webページ情報掲載、企業様のオンライン会議)形式を有償オプションとして提供します。

3.4 プレスカンファレンス(2021年 11月17日 (水) 12:00-13:00 JST)

日時:2022年 11月9日 (水) 12:00 ~ 13:00 JST(日本標準時間・UTC+9)

RISC-V協会による記者会見で、スポンサー プログラムの概要が RISC-V協会によって発表されます。

4. スポンサー / 参加者 料金体系

スポンサー・コンタクト

齊藤 康幸 Email: yasuyuki.saito@riscv.or.jp Phone: +81-3-3833-3717

RISC-V協会 〒104-006 東京都中央区銀座 7-18-13-502

主催 一般社団法人RISC-V協会

企画運営: SHコンサルティング株式会社

後援: 一般社団法人 組込みシステム技術協会

EdgeTech+ 同時開催

スポンサーシップ料金体系

RISC-V Day Tokyo 2022 Autumn 11/16-18 スポンサー料 円立て(外税)		
スポンサーシップ種類	プレゼン時間	費用(外税)
プラチナ	30分	¥600,000
シルバー	20分	¥420,000
追加オプション		
RISC-Vパビリオン @ EdgeTech+ 2022 展示ホール(1F)	3 days	¥420,000
オンライン RISC-V パビリオン	3 days + 18 months	¥60,000

一般参加者の参加費

RISC-V Day Tokyo 2022 Autumn 11/16-17 パシフィコ横浜 展示ホール2F会議室 参加登録料(内税)	
チケット種類	費用
11月16日 会場参加	後日決定
11月17日 会場参加	後日決定
オンライン参加 11/16,17	後日決定
RISC-V Day Tokyo 2022 Autumn 11/16-18 オンライン参加登録料(内税)	
オンライン参加 11/16-18	後日決定
参加登録 URL: https://peatix.com/event/3282226/view (https://peatix.com/)	

5. スポンサーシップの詳細

参加者リスト共有

プラチナおよびシルバーのスポンサー企業様には参加者リストをご提供いたします。ただし欧州GDPRに準拠するため、参加者には、プラチナおよびシルバーのスポンサー企業とリストを共有する旨を事前に通知し、参加者はこの共有をオプトアウトできます。また、ご提供した参加者リストはスポンサー企業様社内でのご利用にとどめ、第三者への共有はご遠慮ください。

プラチナ・スポンサー

1. ロゴおよび会社紹介をウェブ、プレスアナウンスメントに掲載
2. 30分のライブトーク(プレゼンテーション)ビデオ配信(VimeoLive による)
3. プレゼンテーション Q&A: Slack と Twitter を利用して行い、非参加者に配慮
4. 参加者リストの共有
5. ウェブサイトは最低18月間維持
6. ビデオはYoutubeにアップロードしRISC-V協会のチャンネルにも登録、リンクをウェブに配置
7. 1日目と2日目のイベント・チケット(Peatix)の無償優待コードを12人分を提供します。

シルバー・スポンサー

1. ロゴおよび会社紹介のウェブ、プレスアナウンスメントに掲載
2. 20分のライブトーク(プレゼンテーション)ビデオ配信(VimeoLive による)
3. プレゼンテーション Q&A: Slack と Twitter を利用して行い、非参加者に配慮
4. 参加者リストの共有

5. ウェブサイトは最低18月間維持
6. ビデオはYoutubeにアップロードしRISC-V協会のチャンネルにも登録、リンクをウェブに配置
7. 1日目と2日目のイベント・チケット(Peatix)の無償優待コードを6人分を提供します。

6. イベント実施方法の詳細

6.1 会場プレゼンテーション

1日目、2日目はEdgeTech+ 2022 の物理会場にでプレゼンテーションを開催し、同時にその内容をオンライン放映いたします。

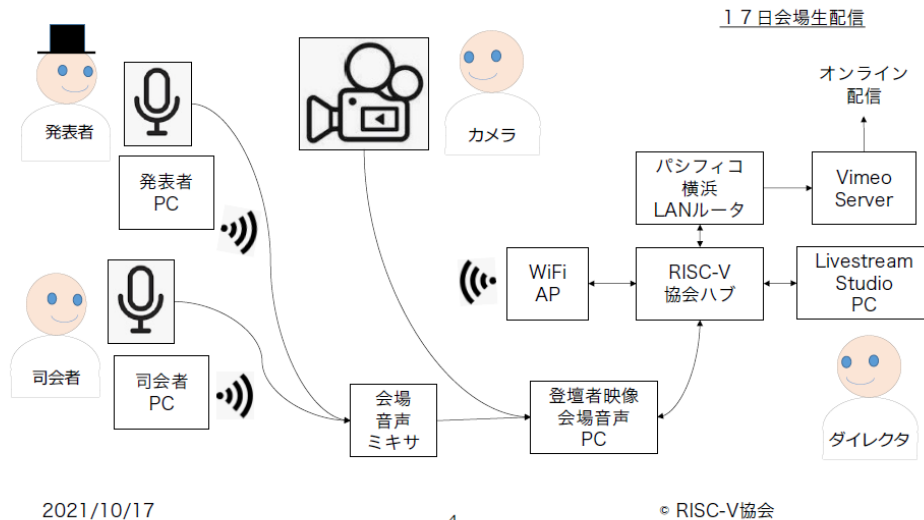


図1.1 会場 + オンラインライブ・運営体制

6.2 オンライン・プレゼンテーション

すでにオンライン会議をしている RISC-V International 企業会員からのフィードバックによると、物理会議(リアルの会議室・会場での会議、講演)では、発表者貢献で祭りの成功が期待できますが、オンライン会議では内容の具体性がより問われ、コンテンツ情報の有用性が必須となります。プレゼンテーションへの質問は、講演ごとに Hashtag を割り当て Slack と Twitter を介して行います。もしくは、講演者が Twitter のアカウントを用意し、そのアカウントに対して@で質問を受け付けることもできます。

1. Vimeo ライブを使いライブ配信をします(規模1,000人)
2. 各講演について、モデレータ、画面音声操作、ライブ Q&A モニタ・スタッフをご提供します

3. 観客の質問を仲介します
4. モデレータが発表者をゲストとしてインバイトし、ご紹介、プレゼン、Q&A の進行をします

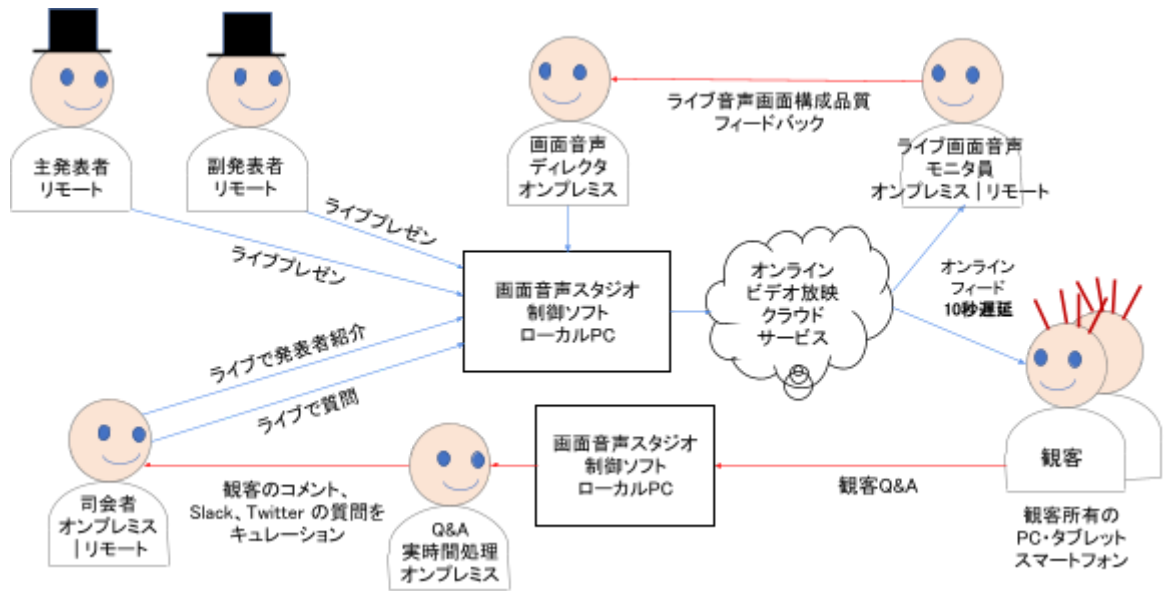


図1.2 オンラインライブ・運営体制



図2 オンプレミスのスタジオ風景(RISC-V Day Tokyo 2020 11/5-6 より)

6.3 会場ブース(パシフィコ横浜 展示ホール(1F))

3.3.1 RISC-Vパビリオン をご参照ください。

6.4 Online RISC-V Pavillion / オンラインRISC-Vパビリオン (バーチャル・ブース)

Online RISC-V Pavilion / オンラインRISC-Vパビリオン

RISC-V Days 2022 Spring で掲載した オンラインRISC-Vパビリオン(Webページ情報掲載、企業様のオンライン会議)形式を有償オプションとして提供します。

オンラインRISC-Vパビリオンでの配信自体は企業様ご自身でご提供いただきます。使い慣れたサービスをご利用ください。RISC-V Days Tokyo では、各デモブースの内容をまとめたデモ紹介ページを用意し、参加者のみなさまにご案内いたします。またトークセッションの合間やプレスカンファレンスでのご紹介や誘導も行います。デモの説明ページからは、ご用意いただいたライブデモへの接続の他、デモ説明 PDF のダウンロードやデモ・ムービーへのリンクもご紹介いたします。加えて、参加者が非公開で個別の質問を送れるよう「プライベート・メッセージ」の機能もご提供いたします。

オンラインRISC-Vパビリオンは無償一般配信、事前宣伝をします。RISC-Vの商業活動を封鎖期間中も促進するために、物理会議での重要な要素であった潜在顧客との個別会話をオンラインにても可能とします。デモ実施者は、自身の会社が提供するビデオ会議プラットフォームを使い、自社オフィスあるいは自社開発拠点から、カメラ、マイクフォンを使い遠隔で実機デモを実施します。RISC-V Dayは、オンラインRISC-Vパビリオンのポータルサイトを提供し、デモを実施するビデオ会議への集客と誘導を行います。オンラインRISC-Vパビリオンは2つのチャンスを提供します。1つはパブリックなショーとオープンQ&Aのチャンス。もう1つは、プライベートな潜在顧客との会話をできるチャンスです。オンラインRISC-Vパビリオンサイトを主催者側が作成し、デモとデモブースの運営は各社に委ねられています。オンラインRISC-Vパビリオンポータルの見栄えや模擬的な挙動は、Day Tokyo 2020 の仮理想デモブースのポータルページでご確認ください: <https://riscv.or.jp/riscv-day-tokyo-2020/virtual-booths-details#SHC> (なおデザイン等に多少の変更が入る可能性がある旨お含みおください)。

オンラインRISC-Vパビリオンのポータルでは、(1)上部にデモタイトル、(2)ブロック図など、デモの概要を示す簡単な画像、(3)デモ説明、(4)参加者をRISC-V製品サプライヤーのウェビナーウィンドウに案内する「ライブ デモ」ボタン、(5)参加者がデモを説明するRISC-V製品サプライヤーのPDF資料をダウンロードできる「デモ PDF」ボタン。(6)「プライベート・トーク」ボタンを使用すると、参加者はRISC-V製品サプライヤーにプライベートメールを送信できます。

SHC RISC-Vデモ：Amazon AWS IoT クラウドへ Andes N22 RISC-V を ルートオブトラストチップを使い 安全接続

Secure Element ATECC608A Trust Development Board

Wi-Fi Module ESP-WROOM-32

Corvette F1 Board

AWS IoT Core

Controlled devices On-board LED

RISC-V

FreeRTOS

Android App

・デモPDF資料のダウンロード
・デモ録画ビデオ再生
・ライブデモへ参加

講演者へのプライベートなメッセージ送付

AWS IoT Coreサービスを通じてAndroidアプリケーションと対話するRISC-V SoCでアプリケーションを作成するのはとても簡単です。2019年、SHコンサルティングベトナム (SHCVN) のエンジニアは、IoTクラウドサービスの威力を示す4つのRISC-Vデモを展示しました。デモの1つは、RISC-VベースのAmazon AWS IoT クラウドプラットフォームでした。RISC-Vツールの使用しSHCエンジニアはFreeRTOS をRISC-Vに移植し、Amazonネットワークに接続しました。今年のデモは、FreeRTOSにルートオブトラストチップを移植し、BYOC (自前公開鍵証明書でAWS IoTにプロビジョニングする技術) を行えるようにしました。RISC-Vのお客様は、AmazonのAWSクラウドの豊富な機能をすぐに利用できます。これには、ビジョン分類、音声認識、機械学習、データベース、クラウドデバッグ機能が含まれます。

プース開催日時:
11月5-6日 2pm-4pm

プースアテナント:
ホワン フィン プー
SHコンサルティング
ベトナム

プライベートチャット

図3 オンラインRISC-Vパビリオンのポータルページ例

7. イベントの背景情報

RISC-V Day Tokyo 2020 のスポンサー企業



参加登録料推移

参加者登録料 推移			
Year	Place	Attendees	Cost
2017 Tokyo	Ito Hall, Central Tokyo	218	4,500 JPY
2018 Tokyo	Fujiwara Hall, Kanagawa	180	4,000 JPY
2018 Fukuoka	IEEE, Westin Hotel, Fukuoka	140	IEEE Fee
2019 Tokyo	Hitachi Baba Hall	360 (sold out)	4,000 JPY
2020 Vietnam	Online	140	100,000 Dong
2020 Tokyo	Online	1,053	無料
2021 Tokyo Autumn	Hybrid	50 + 1,500	1,500 JPY + 無料
RISC-V Day Vietnam 2022	Online	120	無料
2022 Tokyo Spring	Online	1500	無料

RISC-V 書籍翻訳

RISC-V関連 翻訳書籍と会場販売の経緯			
Year	書籍翻訳例	著者	価格
2018 Tokyo	RISC-V原典 和訳(参加者に無料配布)	ウォーターマン パターソン	3,240円
2019 Tokyo	定量的アプローチRISC-V版 日本語 翻訳	ヘネシー パターソン	8,000円
2020 Vietnam	Digital Design with Chisel 英語版PDFウェブ配布・関連講演	マーティン ショーベール	無償
2021 Tokyo	Chiselによるデジタル設計 日本語訳 PDF版をウェブ無料配布	マーティン ショーベール	参加者 無償配布
計画中	未定	未定	未定



RISC-V Day の実績

RISC-V Day は、RISC-V サプライヤの技術PRとRISC-V研究発表の場です。IoT応用、AI応用などの分野での、RISC-V関連の優れた技術や製品、そしてキーパーソンや技術者を一堂に集め、製品認知度の向上、企業間連携の実現、技術交流、情報収集などのビジネスチャンスを提供することを目的としています。

RISC-V Day Tokyo は、2017年にRISC-V International(当時のRISC-V Foundation)の依頼で東大伊藤謝恩ホール、2018年は慶応大学日吉の藤原洋記念ホールとIEEE福岡で、2019年には日立製作所の日立馬場記念ホール(定員360人)で開催しました。2020年の開催は、COVID-19の影響で、当初会場としていた大手町日経ホール(定員620人)をキャンセルし、初のオンライン開催となりました。2日間の開催で、11カ国から延べ 1,053名の参加がありました。

2021年RISC-V Days 重点領域

2014年からわずか5年で、RISC-Vは、複数の5Gモバイル ベースバンド チップに採用され、台湾韓国中国のウェアラブルを制覇、車載分野、サーバ、HPC分野に進出しつつあります。ハードウェアの研究領域を大きく広げました。2021年のRISC-V Daysのテーマは「5Gモバイル、ウェアラブル、車載分野、サーバ HPC分野におけるRISC-V、拡大する研究領域 と ポスト5G時代の応用展開」としました。RISC-Vを推進するアジア太平洋地域(APAC)のエンジニアがRISC-Vにローカルに貢献します。2021年度も、ベトナムのローカルエンジニア組織とも協力し、新しい試みをとりにいれつつ会議開催を進めます。

END OF DOCUMENT